

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2022年度下期調査)

定例調査

中小企業金融の動向を把握し、信用補完制度の円滑な運営に資するため、以下の各項目について調査を実施

【中小企業向け貸出】

- 中小企業向け貸出D.I.は、▲1.6と4期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅はやや縮小。
次期見込みは▲2.6とマイナス幅がやや拡大。

【信用保証付貸出】

- 信用保証付貸出D.I.は、▲4.5と4期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅は大幅に縮小。
次期見込みは▲6.4とマイナス幅がやや拡大。

【信用保証付貸出における条件変更】

- 条件変更D.I.は、22.8とやや上昇し、6期連続でプラス。
次期見込みは28.4と更に上昇。

【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

- 代位弁済D.I.は、25.1と上昇し、7期連続でプラス。
次期見込みは24.7と横ばい。

特別調査

ゼロゼロ融資の据置期間終了による返済開始を見据えた取組み等について調査を実施

【ゼロゼロ融資の据置期間終了による返済開始を見据えた取組み等】

- 個社ごとのゼロゼロ融資の返済開始時期について、「組織的に把握している」と回答した金融機関の割合は84.6%となっている。
- ゼロゼロ融資利用先との返済開始時期に係る対話、連絡等の取組みについては、「定期的訪問におけるテーマの一つとしての対話」が最多(87.4%)。
- ゼロゼロ融資の返済開始にあたり金融機関内で、現在行っている取組みについては、「支援を必要とする企業のリストアップ」及び「金融機関内の支援方針の検討」が最多(61.1%)。
- ゼロゼロ融資の返済開始にあたり利用先に対して注力して取り組んでいる(取り組もうとしている)支援については、「定期的な訪問等によるフォローアップ(オンライン面談・電話等を含む)」が最多(97.2%)。

<お問い合わせ先>

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 保険分析グループ (担当: きどころ 城所、いちのき 今泉、櫟木)

TEL: 03-3270-2384 FAX: 03-3242-0033

<調査の要領>

調査時点	2022年10月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	271の金融機関(都市銀行5、地方銀行62、第二地方銀行37、信用金庫132、信用組合35) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	255の金融機関(都市銀行5、地方銀行57、第二地方銀行32、信用金庫129、信用組合32)
回答率	94.1%

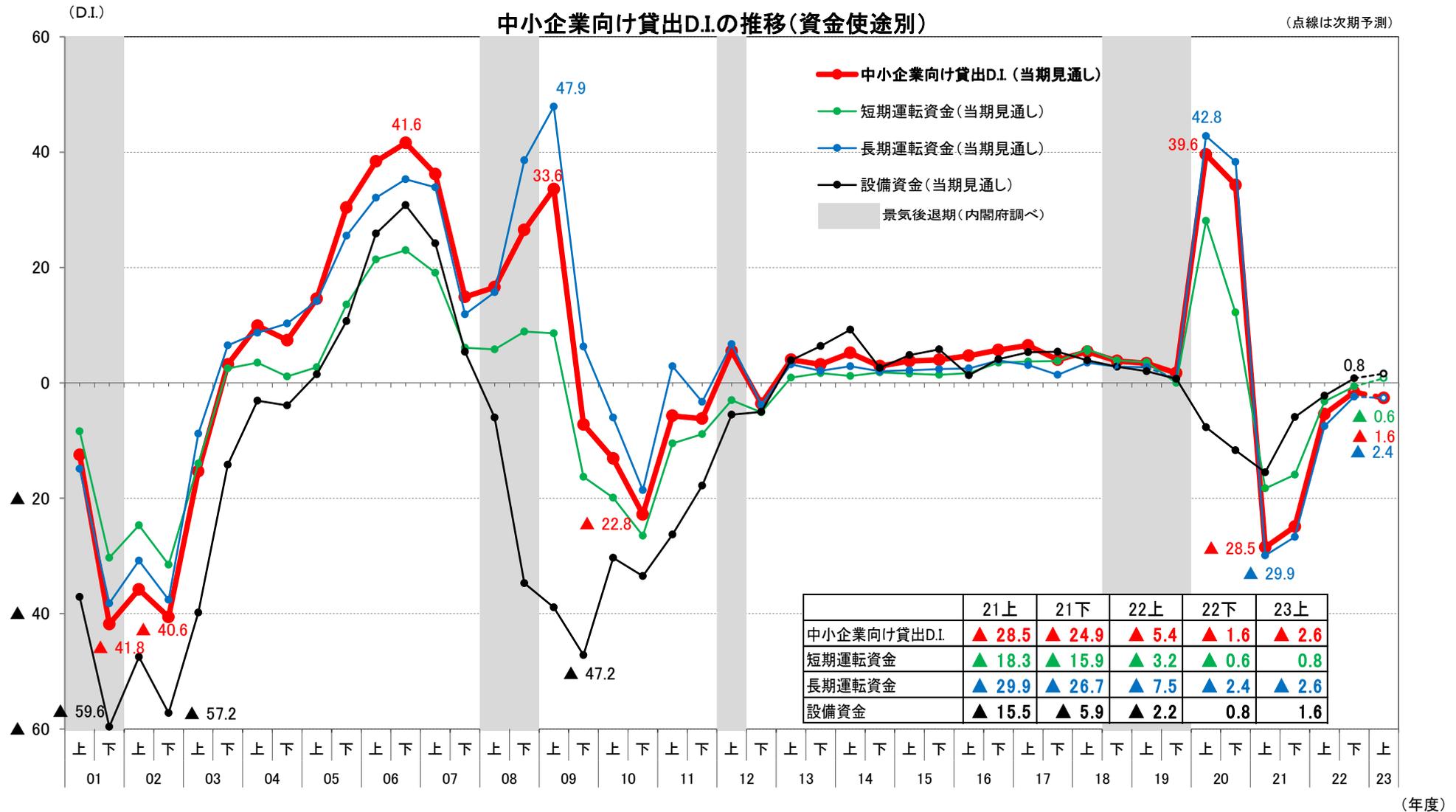
(注) D.I. = (「増加」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや増加」と回答した金融機関の割合) - (「減少」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや減少」と回答した金融機関の割合)。
前年同期比での増減見通し。

(注) 各地域別の集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

- 東北・北海道【32/34】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 - 関東甲信越【84/86】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
 - 東海・北陸【47/50】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
 - 近畿【33/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 - 中国【18/20】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 - 四国【15/15】: 香川、徳島、高知、愛媛
 - 九州・沖縄【26/29】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- (注) 【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

1. 中小企業向け貸出の動向について

- ・中小企業向け貸出D.I.は、4期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅はやや縮小。次期はマイナス幅がやや拡大する見込み。
- ・資金用途別にみると、短期運転資金及び設備資金はやや上昇、長期運転資金は上昇。

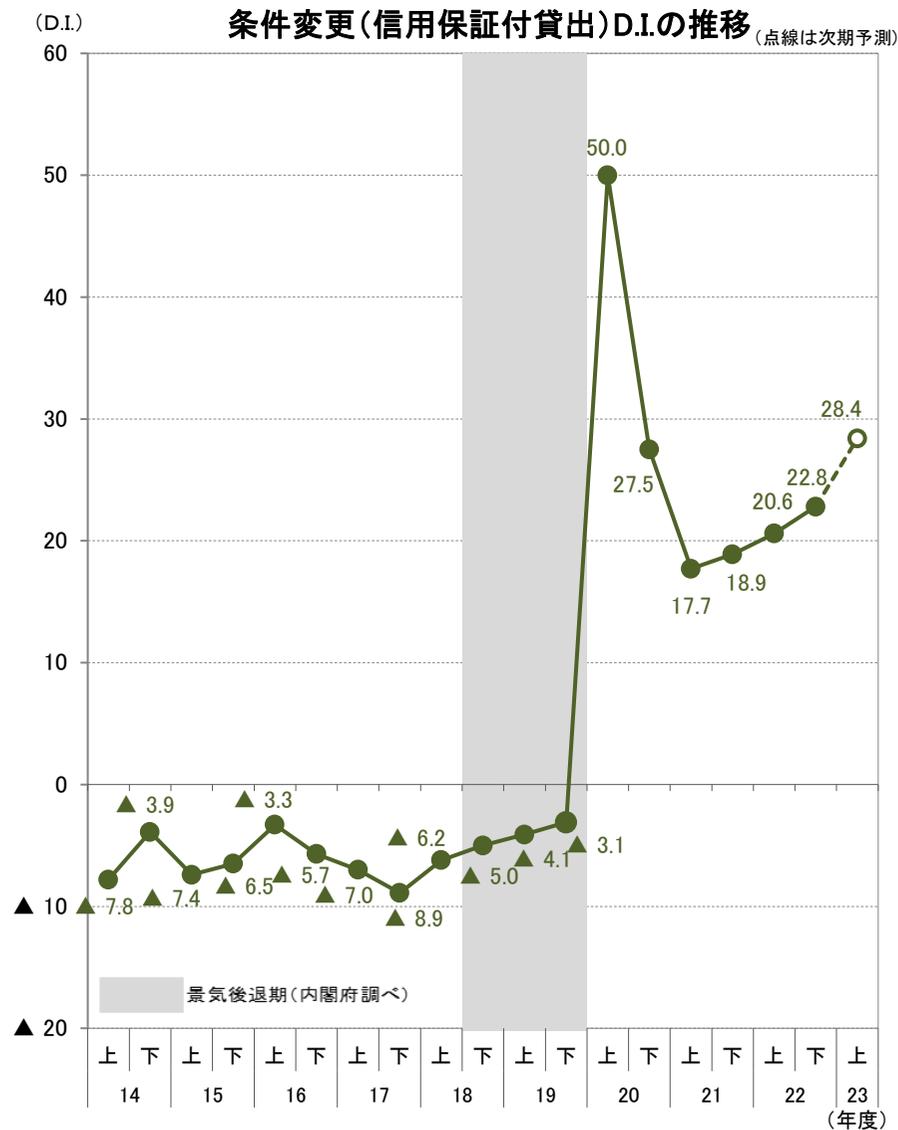
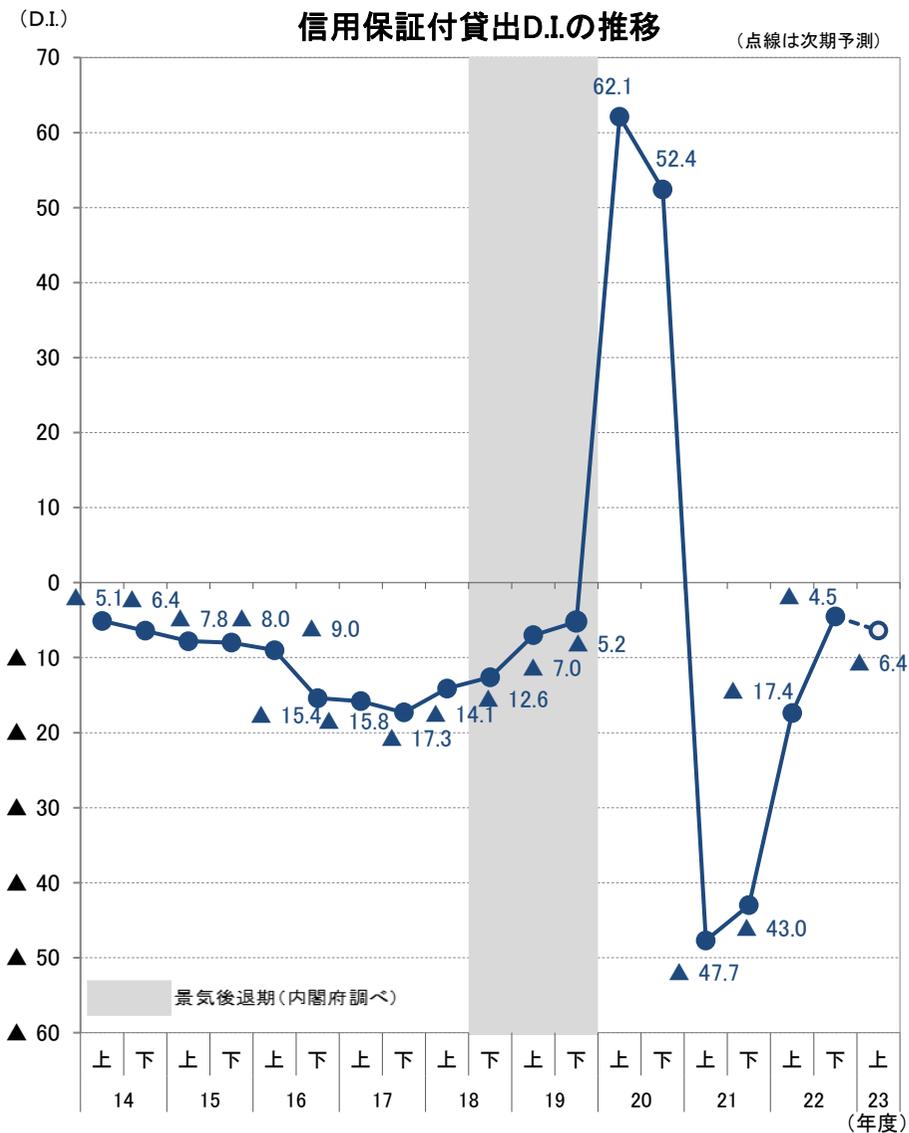


(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

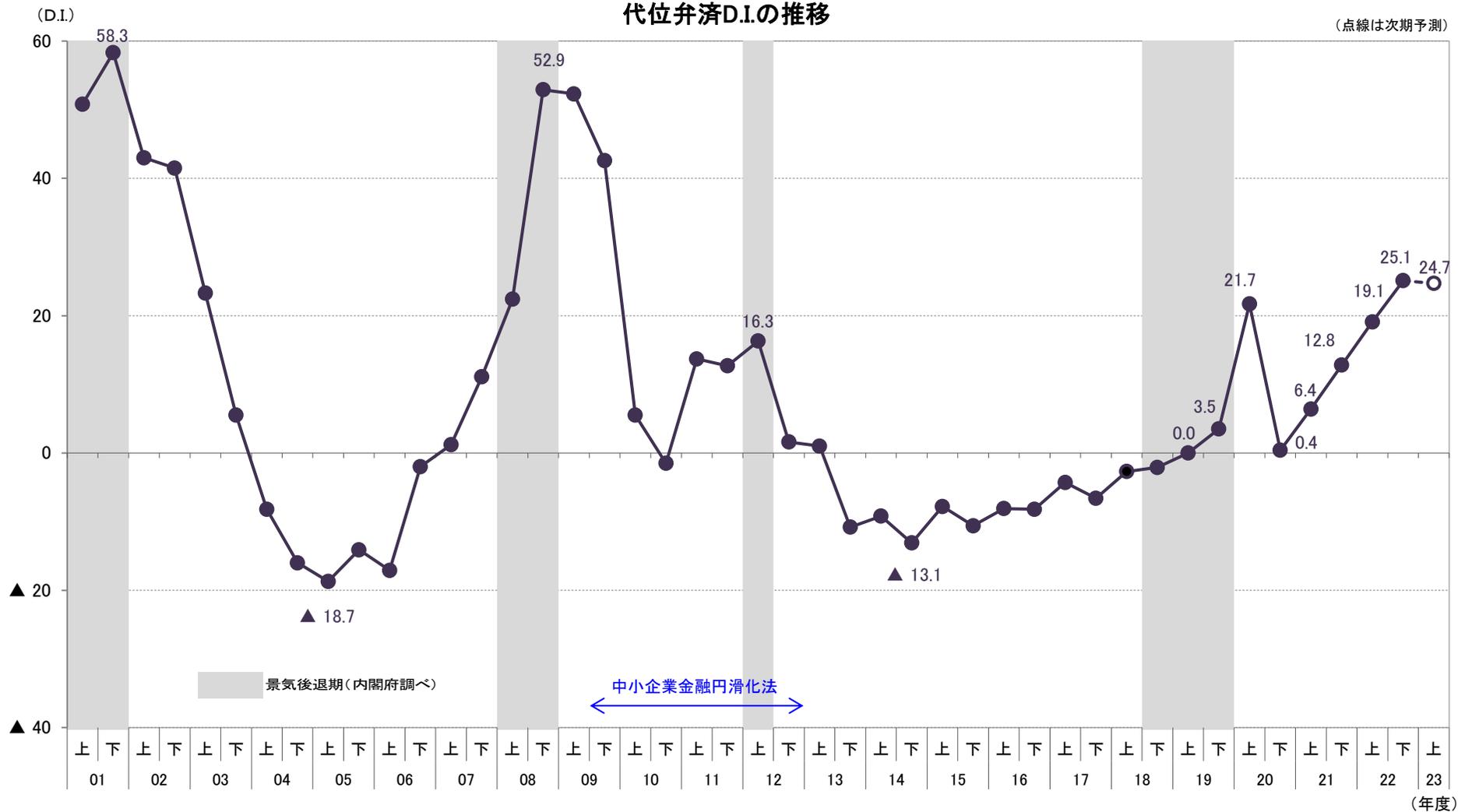
2. 信用保証付貸出の動向について

- ・信用保証付貸出D.I.は、4期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅は大幅に縮小。次期はマイナス幅がやや拡大する見込み。
- ・信用保証付貸出における条件変更D.I.は、やや上昇し、6期連続でプラスとなった。次期は更に上昇する見込み。



3. 代位弁済の動向について

・代位弁済D.I.は、上昇し、7期連続でプラスとなった。次期は横ばいの見込み。



(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

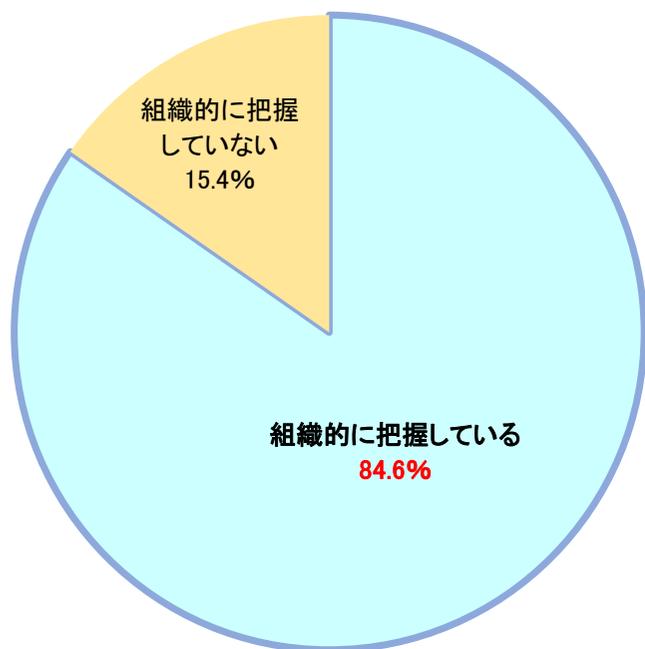
(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

特別調査 ゼロゼロ融資の据置期間終了による返済開始を見据えた取組み等について

1. 個社ごとのゼロゼロ融資の返済開始時期についての把握状況

・個社ごとのゼロゼロ融資の返済開始時期について、「組織的に把握している」(※)と回答した金融機関の割合は84.6%となっている。

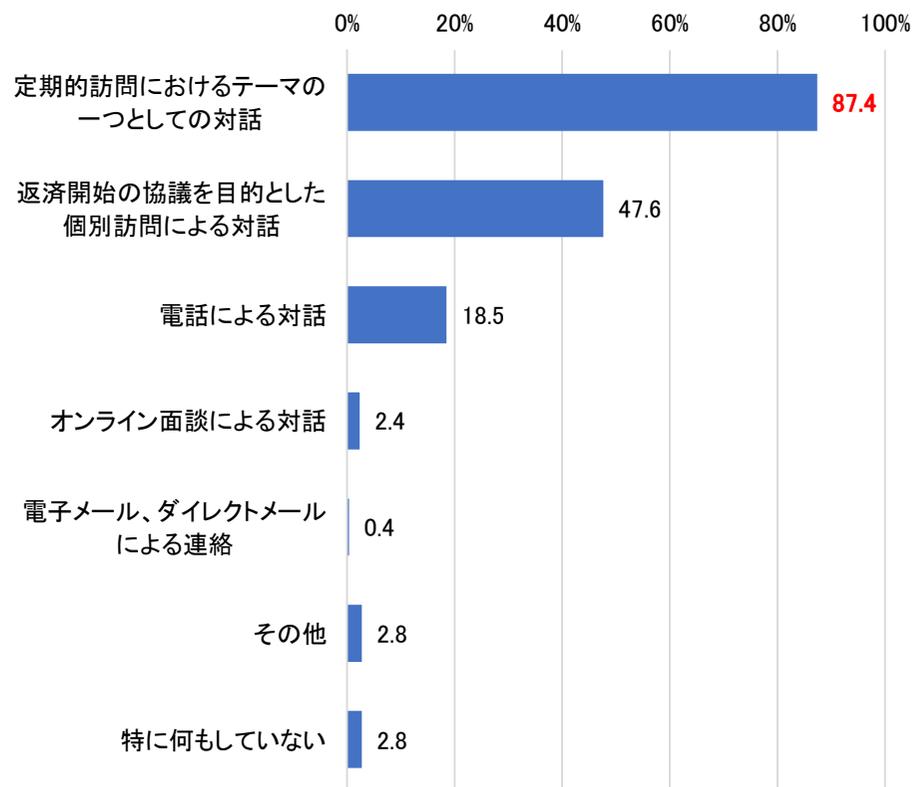
(※)月別の企業数等を把握していることなど



(n=254)

2. ゼロゼロ融資利用先との返済開始時期に係る対話、連絡等の取組状況

・ゼロゼロ融資利用先との返済開始時期に係る対話、連絡等の取組みについては、「定期的訪問におけるテーマの一つとしての対話」が最多(87.4%)。次いで「返済開始の協議を目的とした個別訪問による対話」となっており、訪問による対話を行っている金融機関の割合が高い。



(n=254)

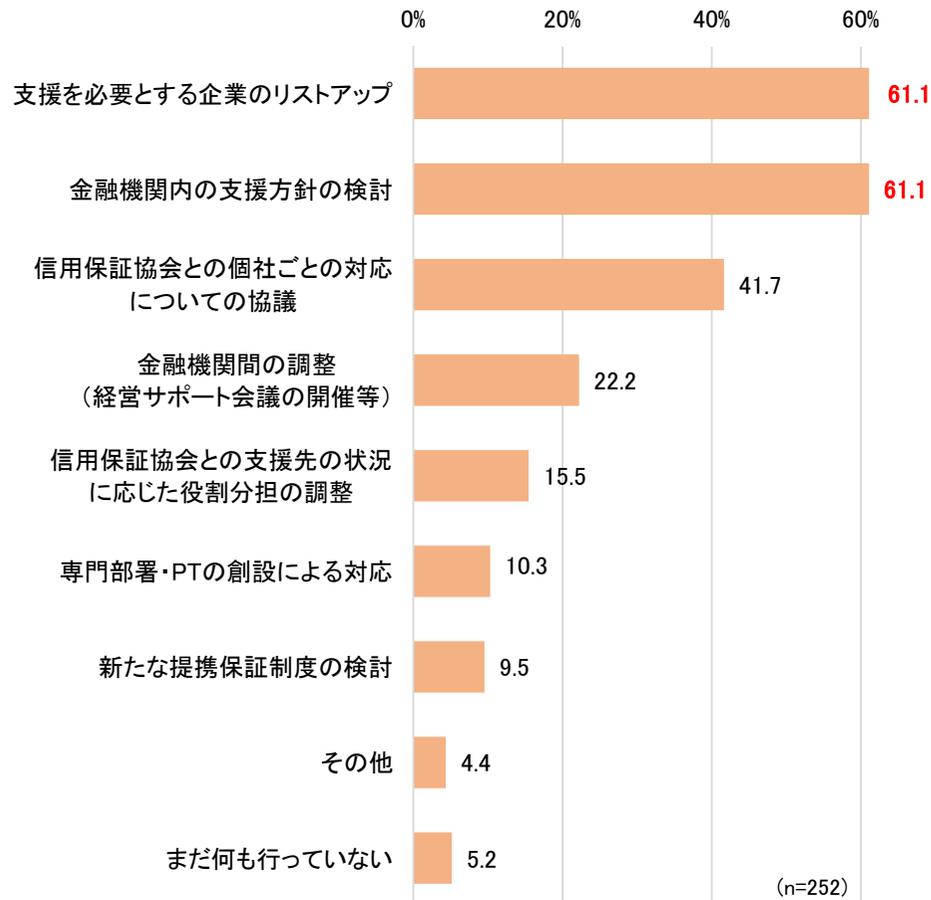
(注1) ゼロゼロ融資とは2020年5月に創設された民間金融機関における実質無利子・無担保融資のことであり、国が保証料補助・利子補給を行う融資制度を指す。

(注2) 2は複数回答のため、合計は100%を超える。

特別調査 ゼロゼロ融資の据置期間終了による返済開始を見据えた取組み等について

3. ゼロゼロ融資の返済開始にあたり金融機関内で現在行っている取組み

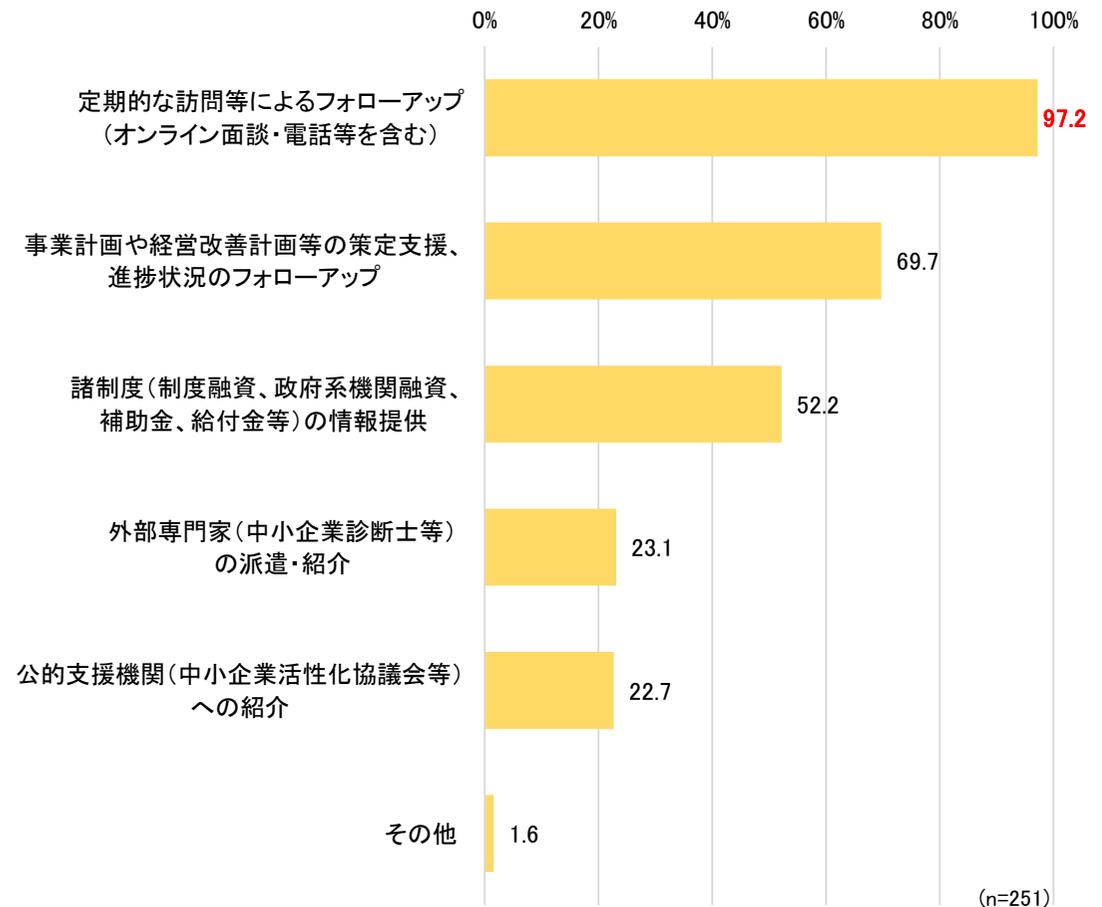
・ゼロゼロ融資の返済開始にあたり金融機関内で、現在行っている取組みについては、「支援を必要とする企業のリストアップ」及び「金融機関内の支援方針の検討」が最多(61.1%)。次いで、「信用保証協会との個社ごとの対応についての協議」の順となっている。



(注1) 3は複数回答のため、合計は100%を超える。

4. ゼロゼロ融資の返済開始にあたり利用先に対して注力して取り組んでいる(取り組もうとしている)支援

・ゼロゼロ融資の返済開始にあたり利用先に対して注力して取り組んでいる(取り組もうとしている)支援については、「定期的な訪問等によるフォローアップ(オンライン面談・電話等を含む)」が最多(97.2%)。次いで「事業計画や経営改善計画等の策定支援、進捗状況のフォローアップ」、「諸制度(制度融資、政府系機関融資、補助金、給付金等)の情報提供」の順となっている。

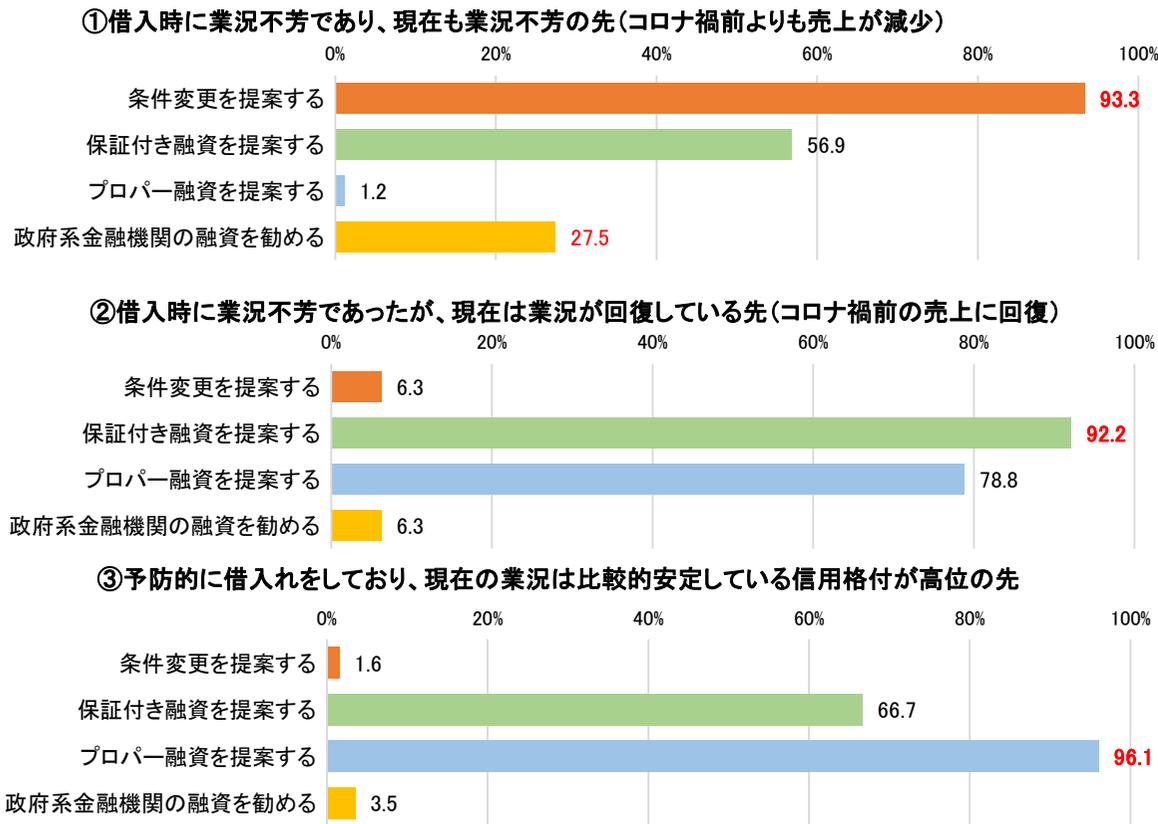


(注2) 4は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

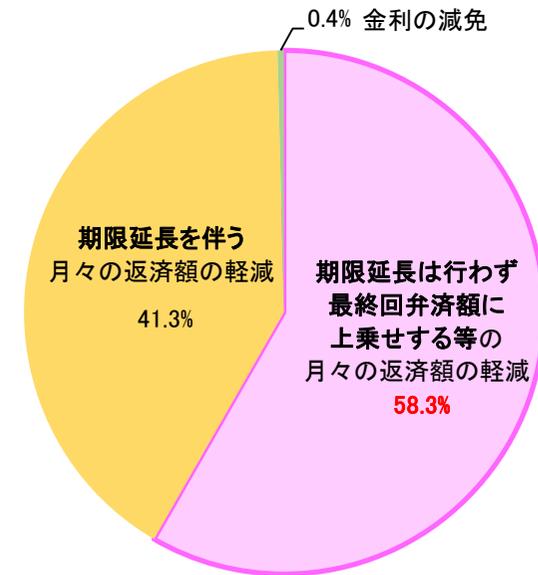
5. ゼロゼロ融資利用先から資金繰りの相談があった場合の予想される対応等

- ・ゼロゼロ融資利用先から資金繰りの相談があった場合の予想される対応について、利用先の業況ごとにみると
 - ①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先(コロナ禍前よりも売上が減少)に対しては、「条件変更を提案する」が最多(93.3%)。次いで「保証付き融資を提案する」となっている。また、「政府系金融機関の融資を勧める」は27.5%と他の業況の利用先(②、③)に比べて高くなっている。
 - ②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先(コロナ禍前の売上に回復)に対しては、「保証付き融資を提案する」が最多(92.2%)。次いで「プロパー融資を提案する」となっている。
 - ③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している信用格付が高位の先に対しては、「プロパー融資を提案する」が最多(96.1%)。次いで「保証付き融資を提案する」となっている。
- ・新たに条件変更を行う場合に最も優先する対応については、「期限延長は行わず最終回弁済額に上乗せする等の月々の返済額の軽減」と回答した金融機関の割合が58.3%となっている。

(1) 資金繰りの相談があった場合の予想される対応(業況別)



(2) 新たに条件変更を行う場合に最も優先する対応



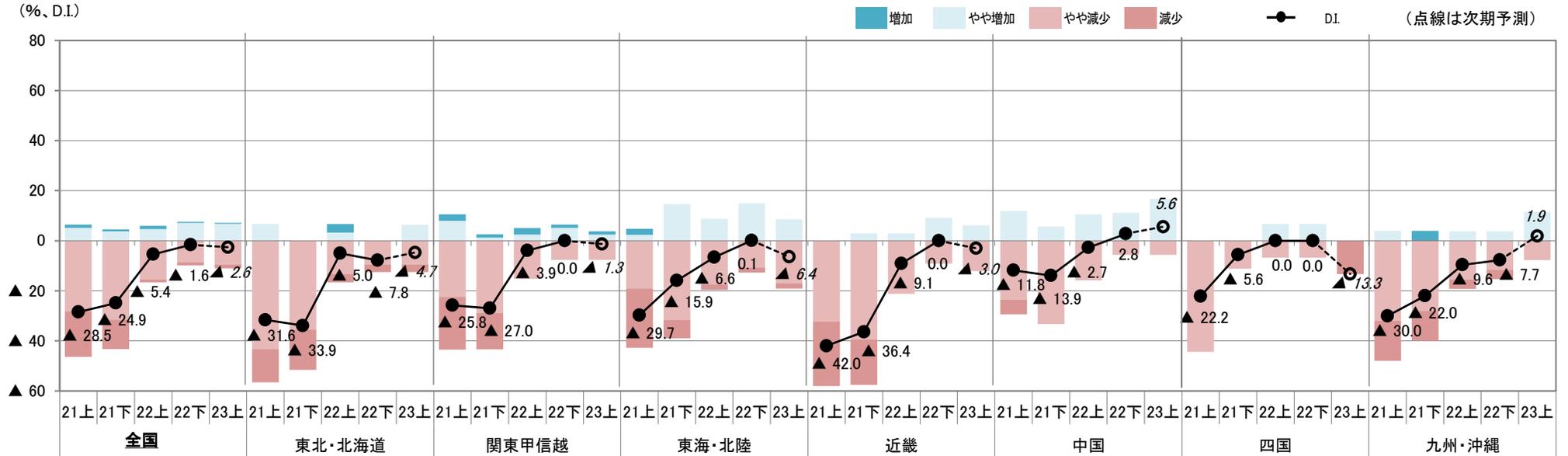
(n=255)

(n=252)

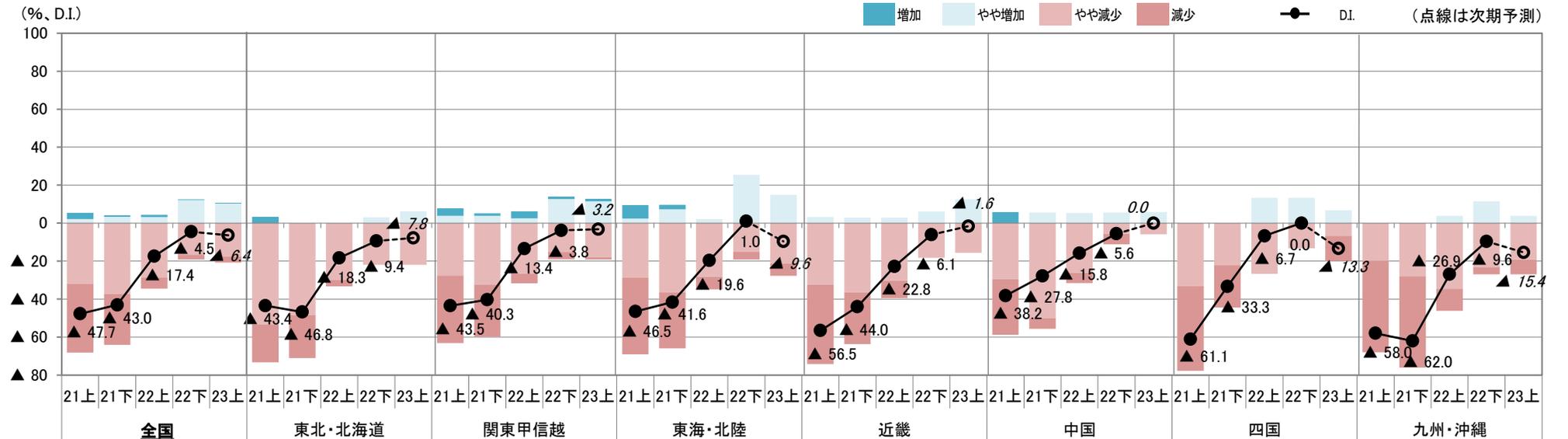
(注) (1)は複数回答(2つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

参考編

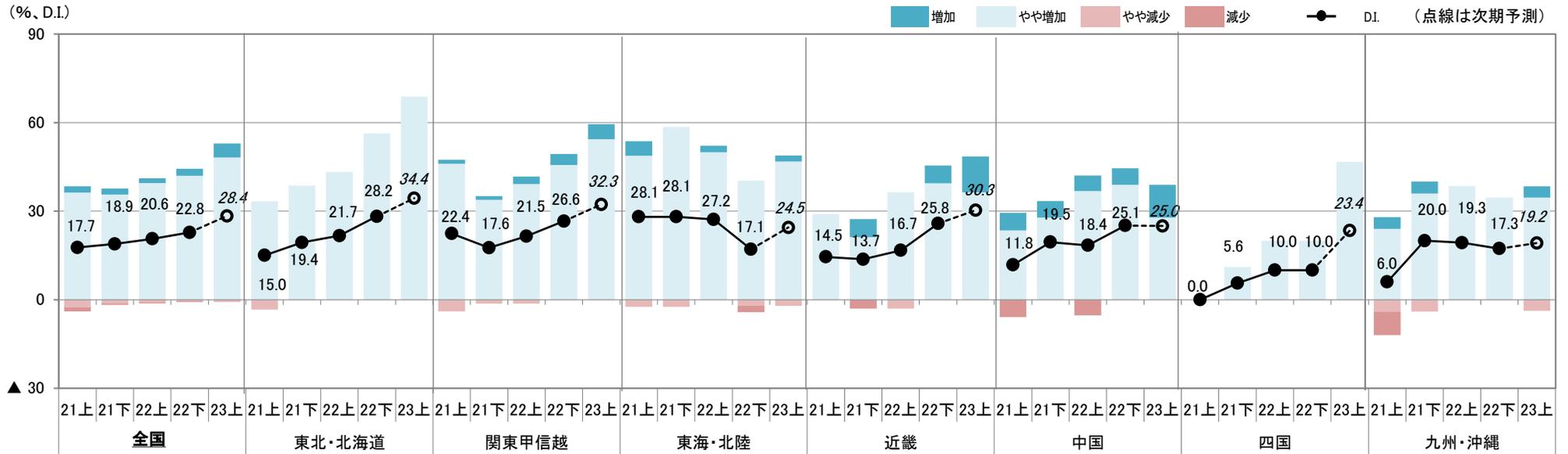
1. 中小企業向け貸出D.I.の推移【地域別】



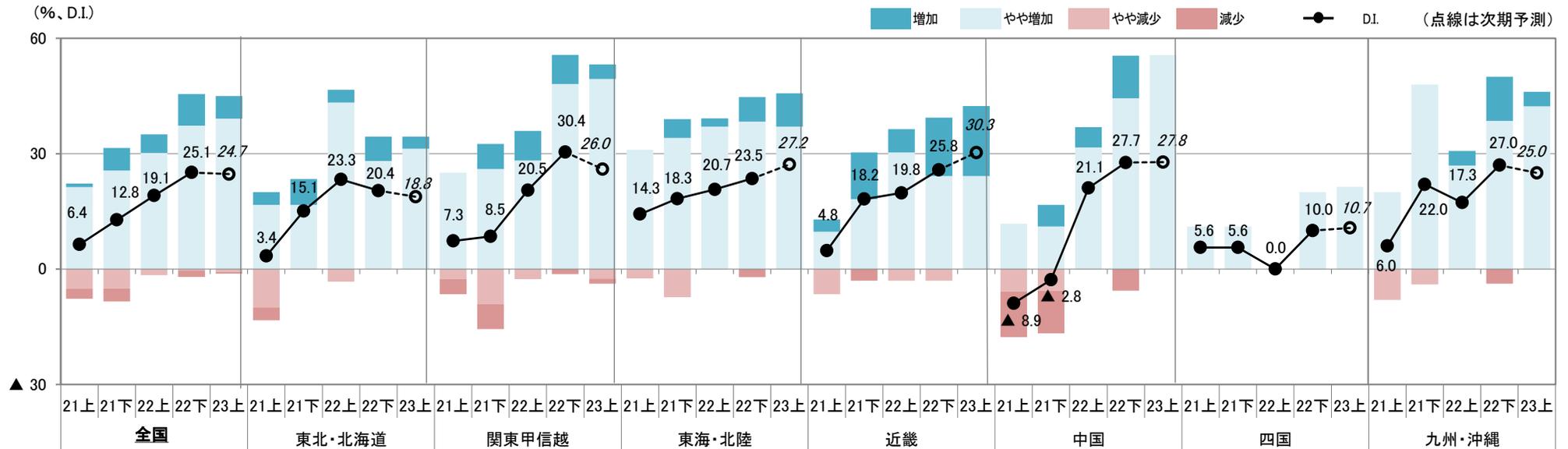
2. 信用保証付貸出D.I.の推移【地域別】



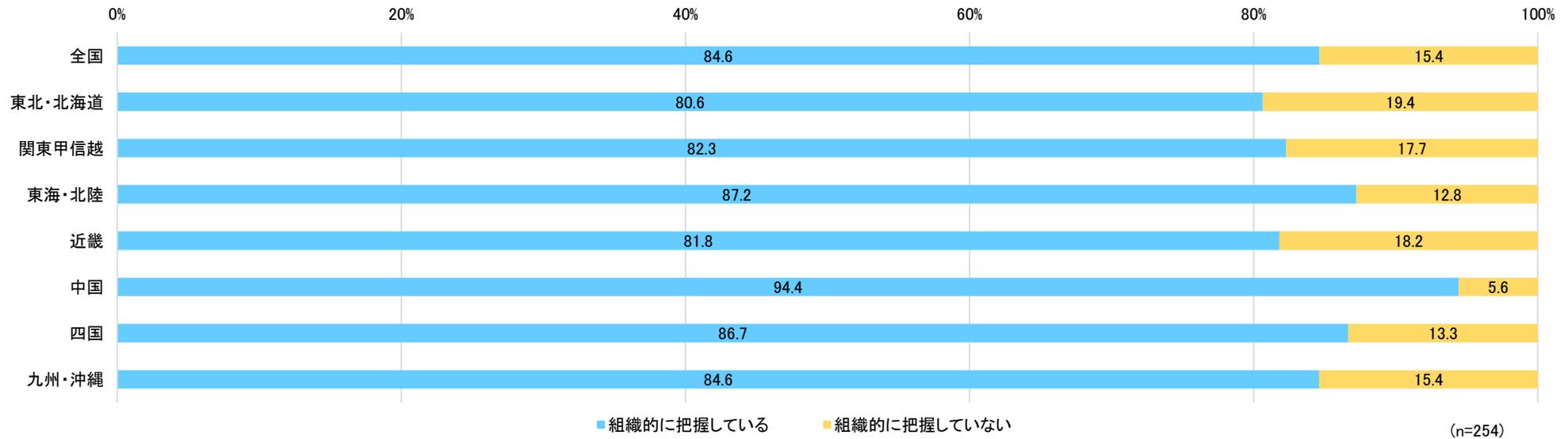
3. 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移【地域別】



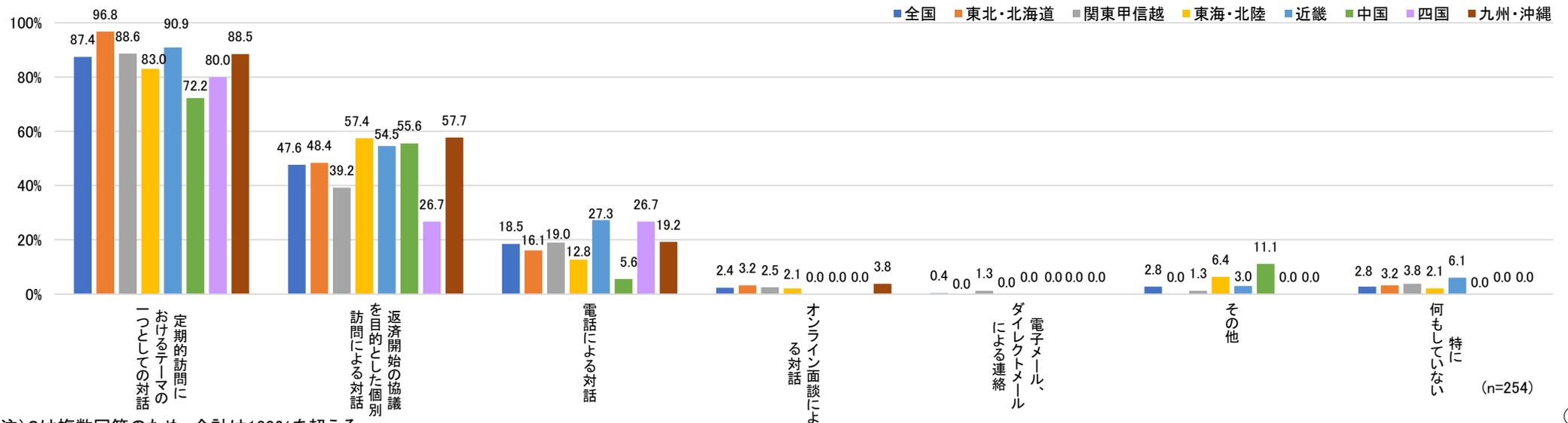
4. 代位弁済D.I.の推移【地域別】



1. 個社ごとのゼロゼロ融資の返済開始時期についての把握状況【地域別】

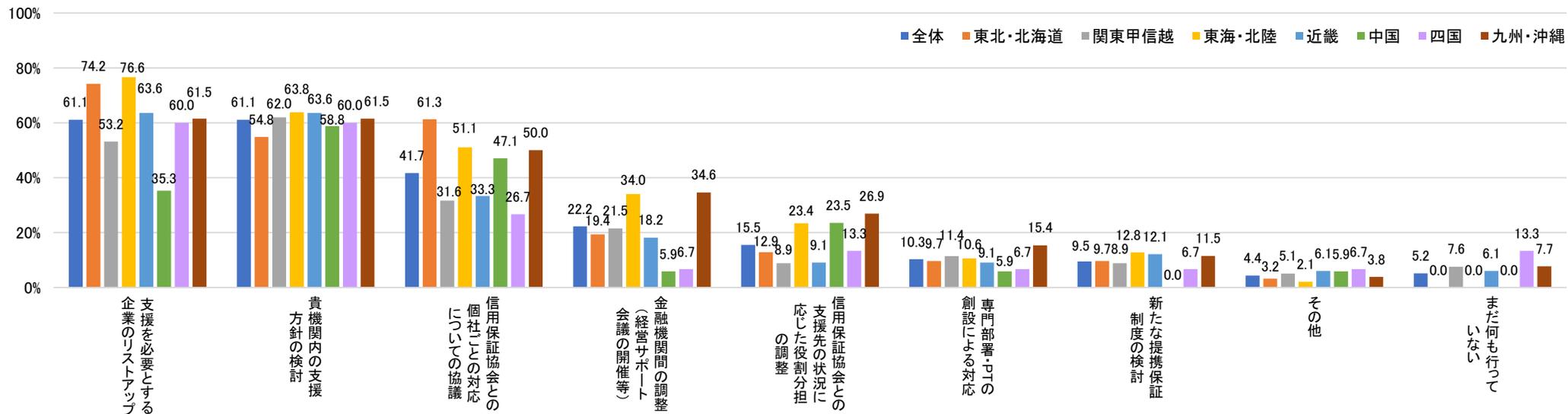


2. ゼロゼロ融資利用先との返済開始時期に係る対話、連絡等の取組状況【地域別】



(注) 2は複数回答のため、合計は100%を超える。

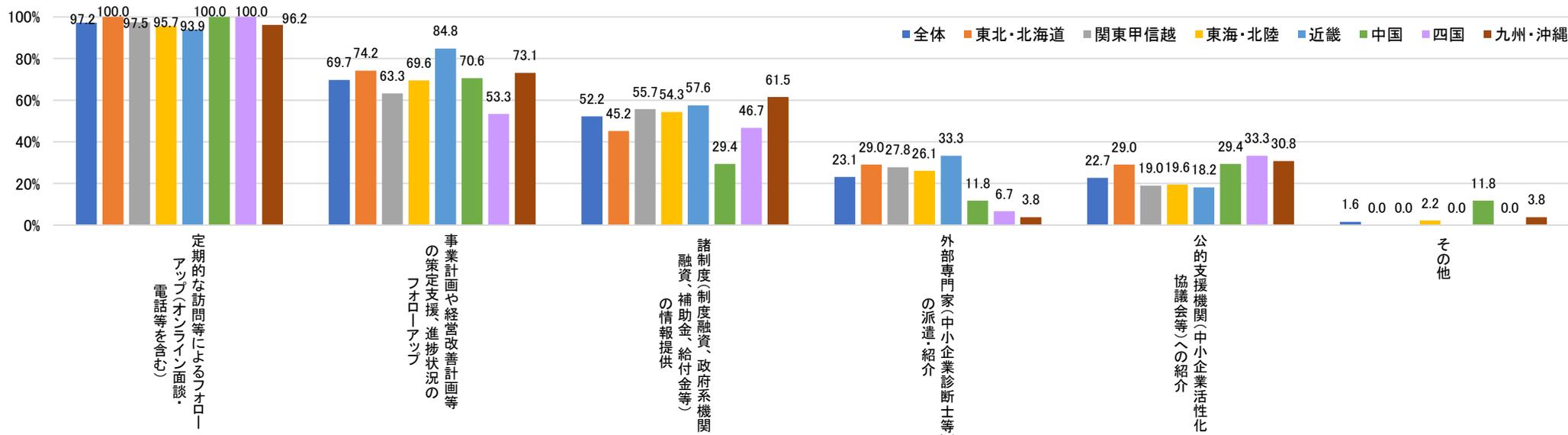
3. ゼロゼロ融資の返済開始にあたり金融機関内で現在行っている取組み【地域別】



(n=252)

(注)3は複数回答のため、合計は100%を超える。

4. ゼロゼロ融資の返済開始にあたり利用先に対して注力して取り組んでいる(取り組もうとしている)支援【地域別】



(n=251)

(注)4は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 ゼロゼロ融資の据置期間終了による返済開始を見据えた取組み等について

5. ゼロゼロ融資利用先から資金繰りの相談があった場合の予想される対応等

(1) 資金繰りの相談があった場合の予想される対応(業況別)【地域別】

【全体】(n=255)

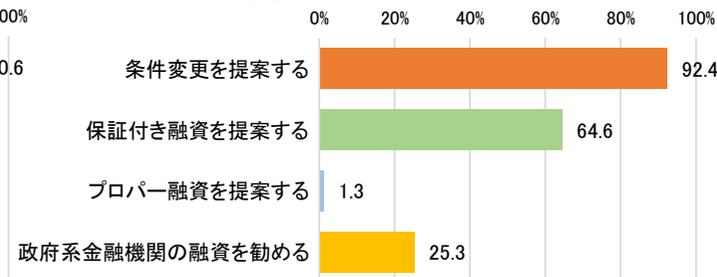
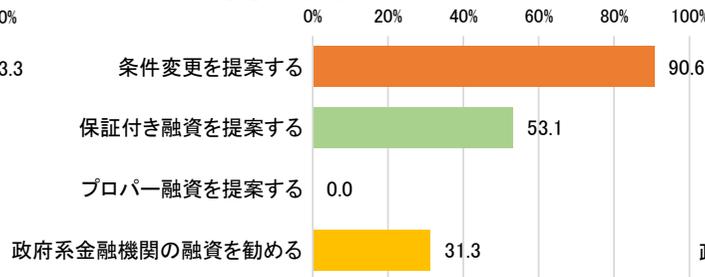
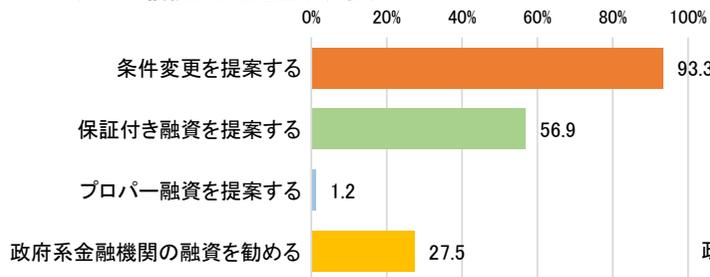
【東北・北海道】

【関東甲信越】

①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)

①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)

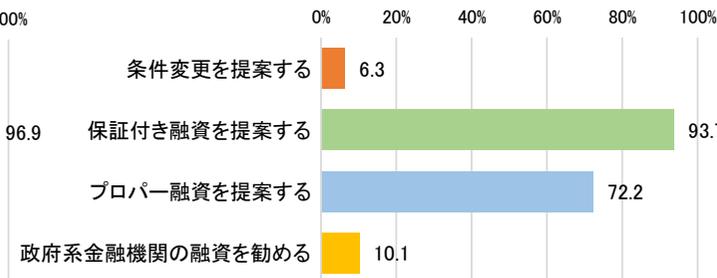
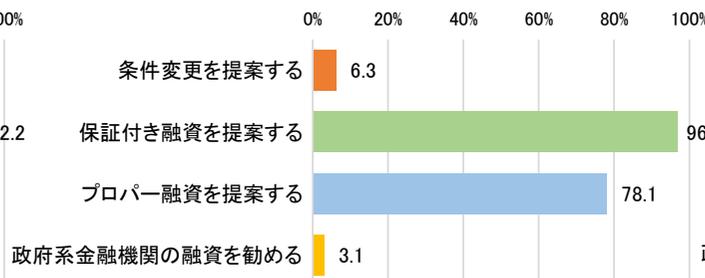
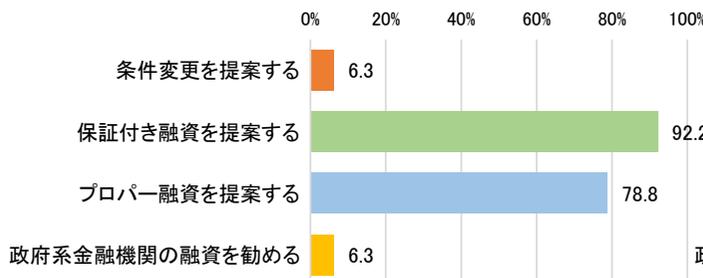
①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)



②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)

②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)

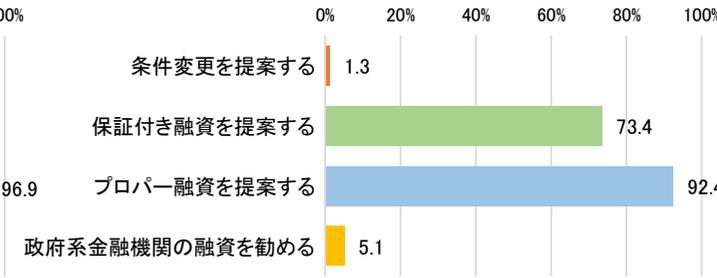
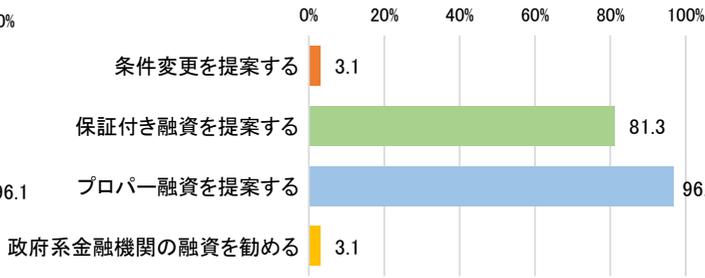
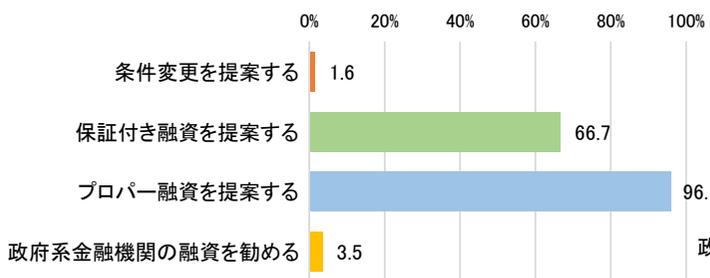
②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)



③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先

③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先

③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先



(注)複数回答(2つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 ゼロゼロ融資の据置期間終了による返済開始を見据えた取組み等について

5. ゼロゼロ融資利用先から資金繰りの相談があった場合の予想される対応等

(1) 資金繰りの相談があった場合の予想される対応(業況別)【地域別】

【東海・北陸】

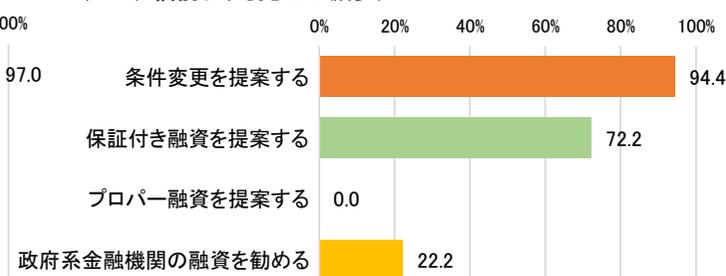
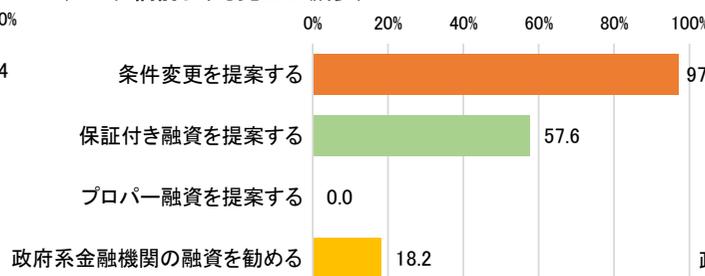
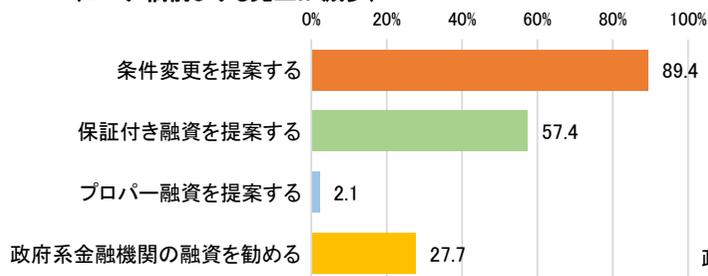
【近畿】

【中国】

①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)

①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)

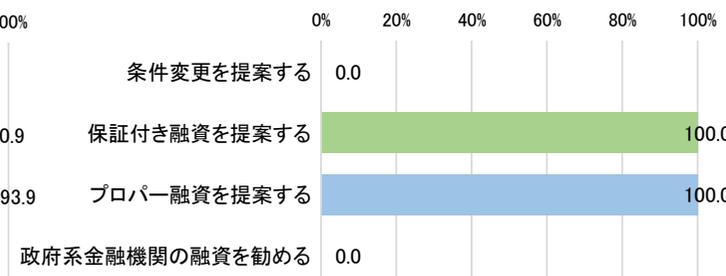
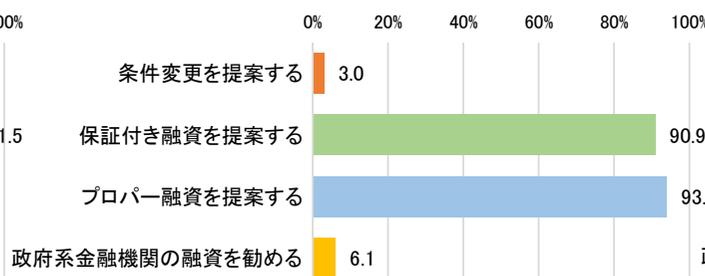
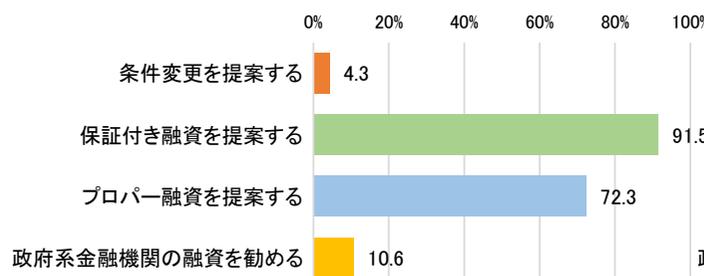
①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)



②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)

②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)

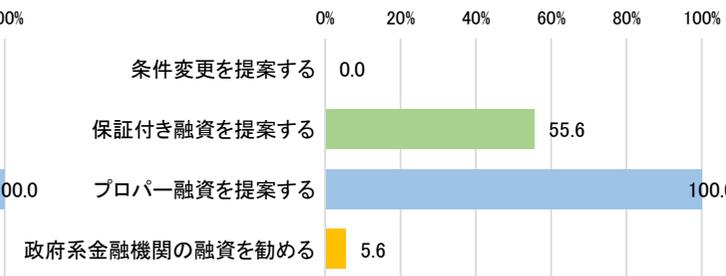
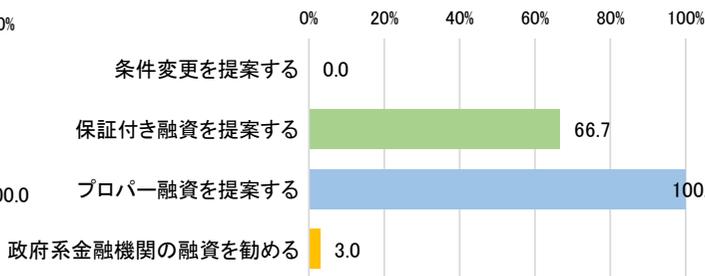
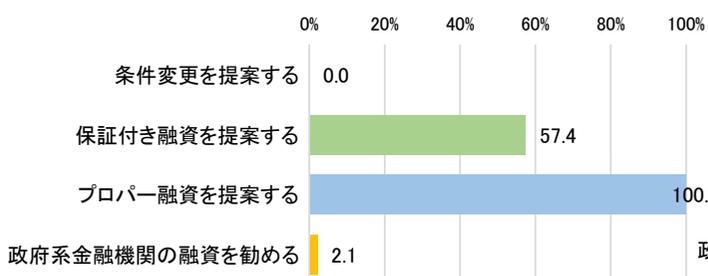
②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)



③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先

③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先

③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先



(注)複数回答(2つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 ゼロゼロ融資の据置期間終了による返済開始を見据えた取組み等について

5. ゼロゼロ融資利用先から資金繰りの相談があった場合の予想される対応等

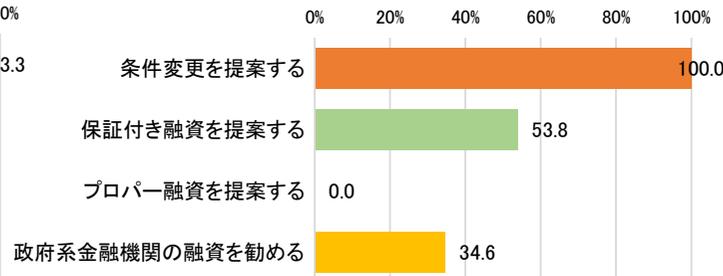
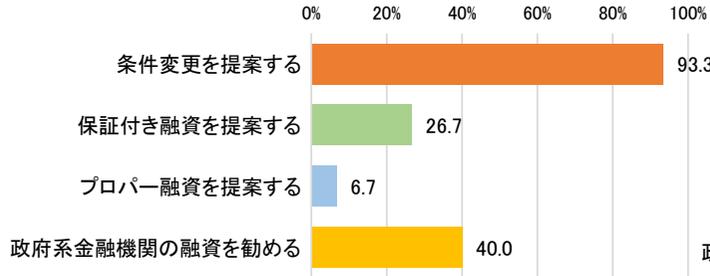
(1) 資金繰りの相談があった場合の予想される対応(業況別)【地域別】

【四国】

【九州・沖縄】

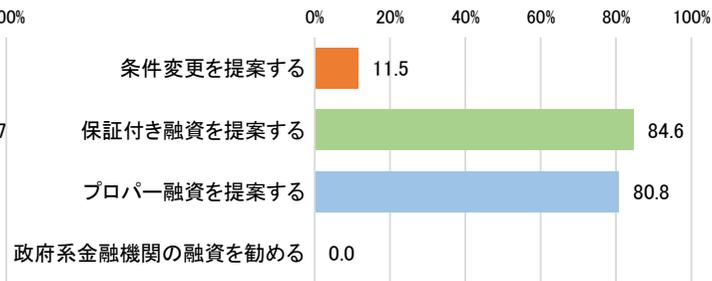
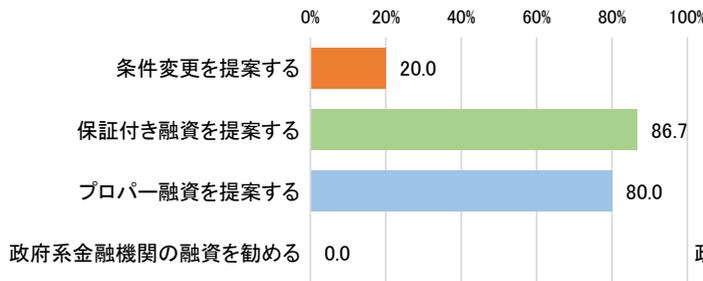
①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)

①借入時に業況不芳であり、現在も業況不芳の先
(コロナ禍前よりも売上が減少)



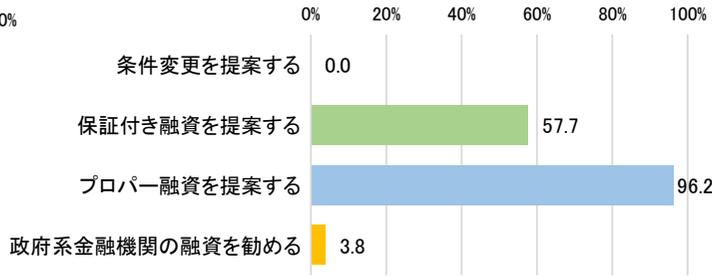
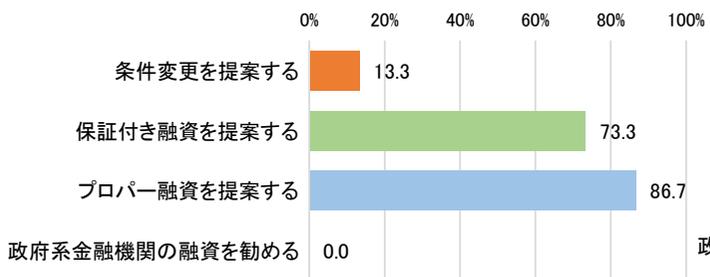
②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)

②借入時に業況不芳であったが、現在は業況が回復している先
(コロナ禍前の売上に回復)



③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先

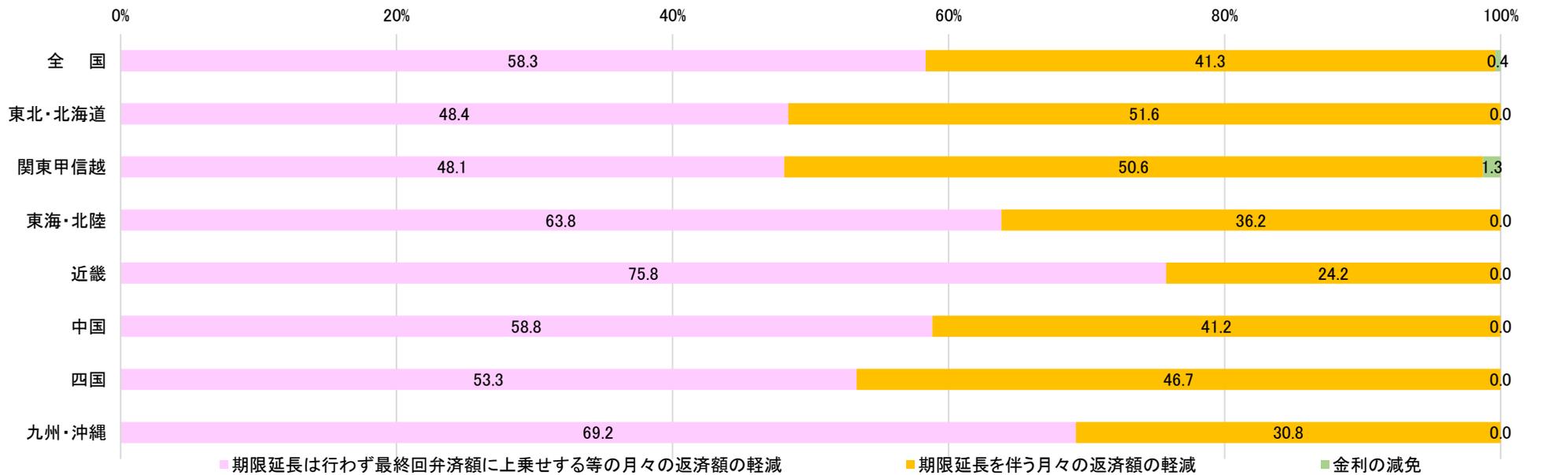
③予防的に借入れをしており、現在の業況は比較的安定している
信用格付が高位の先



(注)複数回答(2つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

5. ゼロゼロ融資利用先から資金繰りの相談があった場合の予想される対応等

(2) 新たに条件変更を行う場合に最も優先する対応【地域別】



(n=252)